

KURIYAMA REPORT

第77期 2016年1月1日 ▶ 2016年12月31日



目次

P.1 ごあいさつ

P.3 CEOインタビュー

P.5 セグメントのご紹介

P.11 トピックス

P.13 連結財務諸表

P.14 株式情報

会社の概要・株主メモ

株主の皆様へ

顧客のニーズをつかみ、 社会に貢献する企業グループを目指して

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2016年12月31日をもって第77期（2016年1月1日から2016年12月31日まで）が終了しましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、原油価格の緩やかな上昇とともに、米国では雇用状況が改善し、個人消費が増加する等景気は緩やかに回復を続けました。しかし、農業やエネルギーを中心とした分野には力強い動きが見られず、また中国をはじめとした新興国では景気は減速傾向となり、英国のEU離脱問題や米国新大統領による保護主義的な政策により先行き不透明な状況となりました。

また、日本経済は英国のEU離脱問題等により急激な円高や株安に見舞われたものの、政府や日本銀行の政策発動により企業収益や雇用状況が改善し、力強さを欠きながらも、景気は緩やかに回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、上半期の円高の影響と北米におけるシェール・オイル&ガス市場の低迷等により、連結売上高は448億29百万円（前期比1.8%減）、営業利益は19億88百万円（前期比32.9%減）となり、経常利益は22億86百万円（前期比33.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は15億66百万円（前期比36.0%減）となりました。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



フリヤマホールディングス株式会社

代表取締役CEO 芦田 敏之

2017年3月

第77期実績（連結）

売上高 448億29百万円
前期比 1.8%減

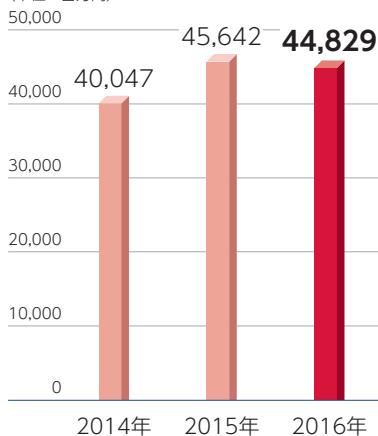
営業利益 19億88百万円
前期比 32.9%減

経常利益 22億86百万円
前期比 33.6%減

親会社株主に帰属する
当期純利益 15億66百万円
前期比 36.0%減

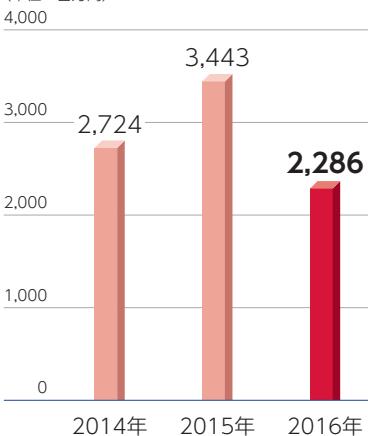
売上高

(単位：百万円)



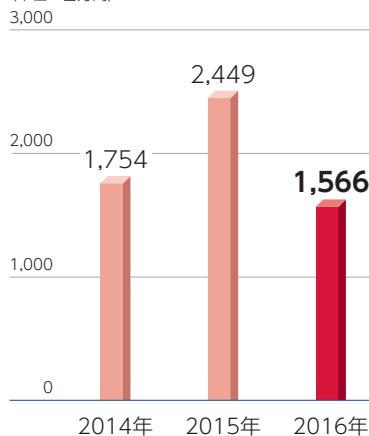
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

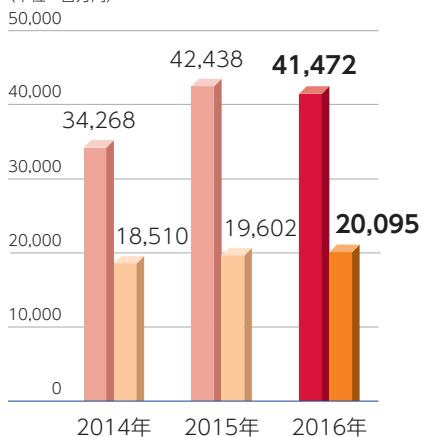
(単位：百万円)



総資産・純資産

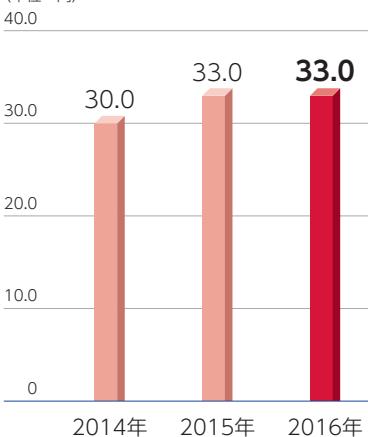
(単位：百万円)

■ 総資産 ■ 純資産



1株当たり配当金

(単位：円)

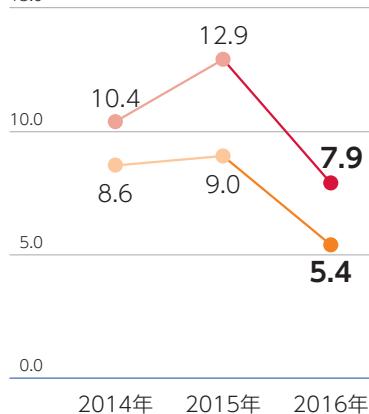


ROE・ROA

(単位：%)

● ROE (自己資本当期純利益率)

● ROA (総資産経常利益率)



Q1 第77期を振り返っていかがでしたか？

A1

昨年は、年初から年央にかけては、急速な円高、原油価格の低下、中国経済の軟調等で当社グループにとってマイナス要因が続き、11月のアメリカ大統領選挙で様相は一変したものの、全体として当社グループにとって厳しい情勢と言えました。北米事業においては、シェール・オイル&ガス市場や、農業市場の低迷の影響を受け、主力の樹脂ホースの販売が伸びずに苦戦しました。一方で国内事業は政府経済政策を背景に、引き続き公共関連の建設資材、スポーツ施設資材を中心に好調に推移しました。一昨年より事業展開している欧

州事業は、主力のゴム製レイフラットホースが欧州向けは堅調に推移しましたが、北米・南米向けは低調となりました。グループ全体としては残念ながら目標の計画には未達に終わりましたが、厳しい環境の中でもある程度の業績を残すことができる底力をつけてきたと手応えを感じております。アメリカのトランプ政権が誕生する2017年度は、世界政治、世界経済にとって激動の一年になると思いますが、そうした環境が我々をより成長させ、新しい姿へ発展する原動力になると信じて、社業に邁進してまいりたいと考えております。

Q2 今後の事業展開をどのように考えていますか？

A2

一昨年に、今後の当社グループの更なる成長の足掛かりとする目的で、欧州でゴムホースを原料から手掛けるTIPSAグループと、国内で尿素SCRモジュール用センサーのメーカーである(株)サンエーを子会社化しました。当社グループはより製造業的な業態へと変わってきております。製造業として当社グループを力強く発展させていく基盤を築くため、昨年は、国内事業で積極的な設備投資と組織変更、

物流システムの大幅な変更を行いました。北米事業ではカナダで社屋の増築と研究施設の整備に設備投資を行っております。今後も必要な施策を継続してまいります。基本の行動原理はメーカーの責任として「品質」を追求することにあります。今年度は材料の仕入れから製品へと流れるメーカー機能を力強く発揮するため、分業化された「組織連携の強化」に注力してまいりたいと考えております。

Q3 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A3

昨年は、カナダでの取締役会を皮切りに、アメリカ、オランダ、スペインと当社グループの各事業会社を訪問し、あらためてグローバル企業となったことを実感した一年でした。特にスペインで一昨年グループに統合した、TIPSAグループの一周年記念パーティーでは、現地従業員の家族と初めて交流し、グループとしての一体感を強く感じました。当社グループは、1968年にアメリカに初の海外現地法人「Kuriyama of America, Inc.」を設立して以来、現在はカナダ、中国、メキシコ、タイ、オランダ、スペイン、アルゼンチンと、海外8か国に23社の現地法人を持ち、国内10社と合わせて33社の企業グループとなるに至りました。これもひとえに

株主の皆様のご支援の賜物とあらためて感謝申し上げます。

当社グループはますます世界政治、世界経済と無関係ではいられなくなりました。世界情勢が大きく動こうとしている現在、より広い視野で現状把握と情報分析を進め、リスクとチャンスをしっかり見極めて乗り切ってまいりたいと考えます。株主の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

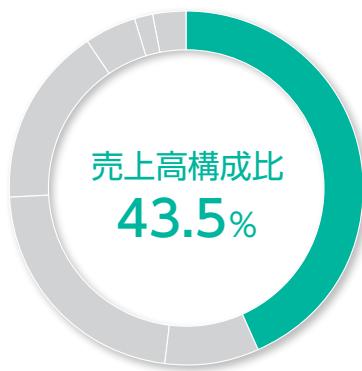
芦田 敏之

2005年 3月 当社取締役管理本部長
2010年 3月 当社常務取締役管理本部長
2011年 3月 当社常務取締役経営企画本部長
2012年10月 当社取締役経営企画部長
2015年 1月 当社代表取締役CEO（現任）



セグメントのご紹介

北米事業



事業のご紹介

産業用ゴム・樹脂・メタルホースの、製造・販売・物流基盤を確立し、業界ポジションも北米トップクラスにあります。

製販一貫したサービスで、2,500社以上の販売代理店を通じ、主に建築土木、採掘、灌漑、食品、産業機械業界へ販売しております。

- 飲料用ホース
数本の飲料用ホースを束ね一体化した、付加価値の高い飲料搬送用ホースを提供しております。
- ガソリンドロップホース
過酷な使用条件下でも耐久性に優れた、ポリウレタン材質のガソリン注入用ホースを提供しております。
- メタルホース
排煙、排ガス、粉塵輸送など、過酷な耐久性を要求される用途に使用される金属フレキシブルホースを提供しております。
- 下水道洗浄用ホース
下水道管の洗浄に使用される高圧樹脂ホースを提供しております。

当期の概況

原油価格下落の影響により、シェール・オイル&ガス市場や、農業市場向けホースの販売は低調となりましたが、配管ホースや灌漑用ホース、またプール等の送水用として使用するスパホースの売上が堅調に推移しました。

今後の米国経済の回復に向け、顧客へより良いサービスが提供できるよう、生産設備の増強や、品質の向上に取り組んでまいります。

また、独自の技術により開発した新商品を、新規市場へ展開できるよう、注力してまいります。



高圧配管洗浄ホース

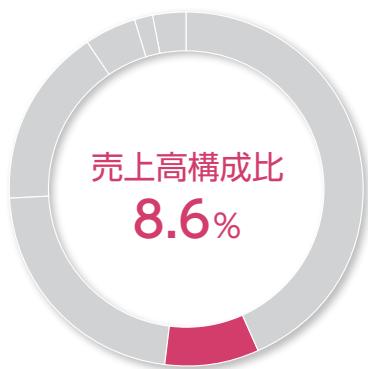
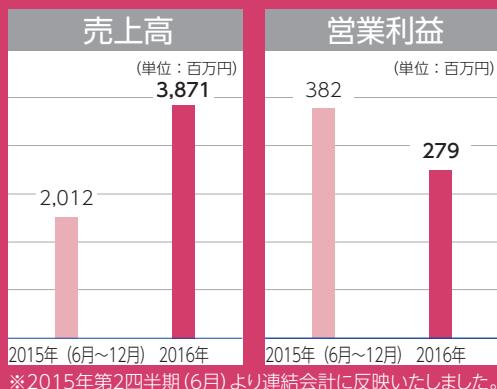


耐UV仕様 サクション・デブリバリーホース



耐油仕様 熱可塑性樹脂ホース

欧州事業



事業のご紹介

ゴム製レイフラットホースを製造販売しており、業界ポジションも世界トップクラスにあります。

スペイン、アルゼンチン、アメリカに製販拠点を構え、世界各国の様々な業界に製品を販売しております。

- 産業用ホース
灌漑・農業・鉱山・水関連産業等の各業界へ、顧客ニーズに合った様々なホースを提供しております。
- 消防用ホース
火事や森林火災等向けに、消防用ホースを提供しております。
- 長尺、大口径ホース
鉱山、シェール・オイル&ガス業界にて遠距離送水に使用する、耐久性に優れた長尺、大口径のホースを提供しております。
- 消防器具
消防用器具、ノズル等をホースとアッセンブリすることにより、付加価値の高い製品を提供しております。

当期の概況

原油価格下落の影響により、シェール・オイル&ガス市場や、農業市場向けホースの販売は低調となりましたが、消防ホースやノズルビジネス分野では、新商品開発や消防業界で唯一のホース・ノズル一体メーカーとしてマーケティングを推進し、販売が増加しました。

引き続き、更なる品質の向上を目指すと共に、付加価値製品の開発を推進してまいります。

また、グローバル展示会にも積極的に出展し、高い成長率が見込める水輸送関連の農業・鉱業・消防・井戸掘削市場にて、新しいビジネスチャンスを獲得してまいります。



消防用ホース

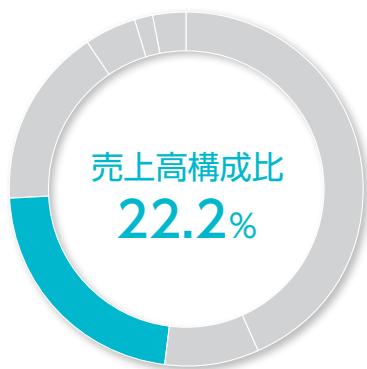


消防用品展示会



農業用ホース

産業資材事業



事業のご紹介

- プラント用資材事業
電力、船舶、化学プラント等向けの部材の販売・施工を行っております。
- 量産機械用資材事業
農業機械、建設機械、自動車等の量産機械に組み込まれる各種部材の製造・加工・販売をしております。

当期の概況

プラント用資材事業は、大型客船の内装工事で売上を大きく牽引しました。また各種ライニング等の資材受注は堅調に推移しました。

量産機械用資材事業では、建設機械、農業機械ともに国内向けの需要は伸び悩みましたが、海外向けについては堅調に推移しました。注力しております尿素SCRモジュールについては、昨年並みの業績となりましたが、積極的な設備投資や技術開発、品質管理の推進により、今後の需要拡大に備えた準備を進めております。また、調達や物流関連で抜本的な改革に取り組み、サプライチェーン・マネジメントの向上を図っております。

EC事業については、WEB販売サイトにて工具やアウトドア用品の小売事業を展開してはりましたが、今年度をもって廃止し、子会社エアモンテ(株)の主力ブランドであるアウトドア用品の「MONTURA」に特化集中することいたしました。



ラバークリップ (KCRクリップ)

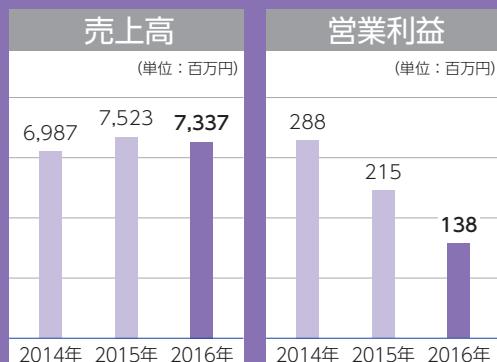


尿素識別センサー



ゴムライニング

建設資材事業



事業のご紹介

- 建築用資材事業
商業施設用に、「スーパー・マテリアルズ」ブランドを展開し、セラミックタイルを中心に、お客様のニーズに合わせて施設に最適な床材をご提案、販売しております。
- 鉄道施設用資材事業
鉄道施設用の床材や階段を、専門性の高いお客様のご要望にお応えするべく「エーストン」ブランドとして、自社にて開発の上、販売しております。
- 道路土木用資材事業
公共工事に、道路・橋梁・土木関連の各種製品を、販売しております。
屋外の都市景観用のタイル製品を、「エコ&セーフティエクステリア」ブランドとして展開しております。

当期の概況

建築用資材事業では、民間商業施設のリニューアルや新規店舗出店などの需要が受注に繋がり、業績は好調でした。道路土木用資材事業では、当社の得意分野での公共工事が堅調で、受注を伸ばしました。鉄道施設用資材事業は、「スキマモール」を中心とした新製品がお客様の評価を得ましたが、従来からの主力製品である「エーストン」シリーズが、前年に比べ改修案件の需要が減ったことにより、やや伸び悩みました。建設資材事業の各種ブランドは、近年製品の種類や幅も広がり充実してまいりました。2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けて、建設需要の伸びが期待される中、更なるマーケットシェアの拡大と、今後本格化する建設需要を取り込めるよう、努めてまいります。



商業施設用タイル

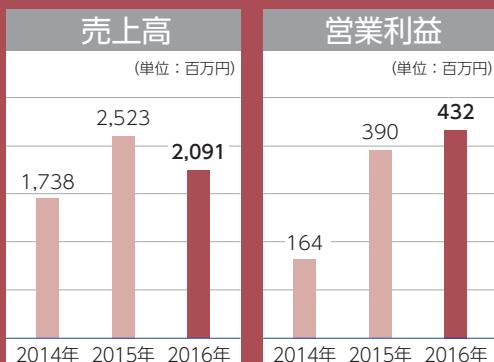


橋梁用ゴム支承



鉄道施設用タイル

スポーツ施設資材事業



事業のご紹介

スポーツ施設等で実績が豊富な以下の主要商品の販売・施工を行っております。

- 陸上競技場等用
「スーパーX」(全天候型舗装材：国際陸上競技連盟認証品)
- 体育館等用
「タラフレックス」(弾性スポーツ床材：国際バレーボール／ハンドボール／テニス／卓球連盟認証品)
- サッカー場等用
「モンドターフ」(人工芝：国際サッカー連盟認証品)
「リモンターフ」(人工芝：国際サッカー連盟・ワールドドラグビー推奨商品)

当期の概況

リオオリンピック・パラリンピックで採用された「スーパーX」に注目が集まり、改修物件の受注を牽引しました。

また体育館の床材として、競技時の安全性や、災害時の避難所としての役割を担う多目的性の観点から、「タラフレックス」が各方面で好評を博し、高い業績を残すことができました。

人工芝では、黒ゴムチップの有害性が問題視されたこともあり、安全性の高い「リモンターフ」に注目が集まり、大型物件の受注に繋がりました。

今後、人工芝の改修需要が高まる中、新たな取り組みとなる人工芝改修マシンの導入により、改修事業を着実に捉え、受注の拡大に努めてまいります。



全天候型舗装材 「スーパーX」

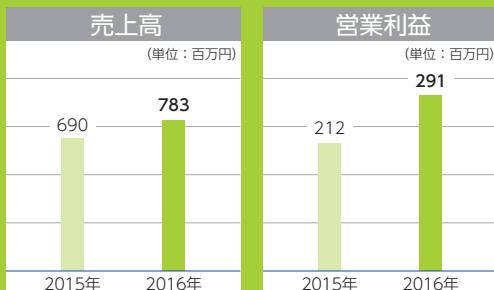


弾性スポーツ床材 「タラフレックス」



人工芝 「リモンターフ」

ホテル事業



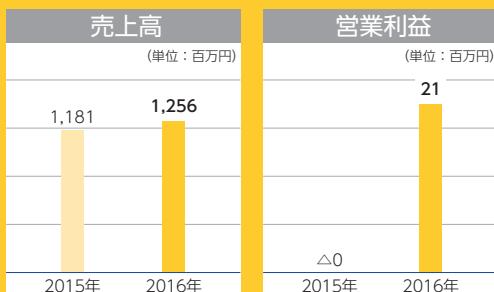
売上高構成比 **1.8%**

当期の概況

クリヤマコンサルト(株)が運営するビジネスホテル（ホテルコンサルト新大阪）では、アジアのインバウンド旅行客向けのインターネットによる予約販売が好調です。

引き続き、積極的な集客活動の展開と顧客サービスの向上により、国内のビジネス・観光客と共に、インバウンドの需要に応じてまいります。

その他事業



売上高構成比 **2.8%**

当期の概況

中国市場への拠点となる上海栗山貿易有限公司では、建設機械顧客向けの量産機械用部品の販売が回復基調で推移し、売上高・営業利益ともに前年比増となりました。

エアモンテ(株)では、イタリアのアウトドアブランド「MONTURA」製品を、全国の有名アウトドアショップ等で販売しております。ウェアをはじめシューズ等、各種登山用品を取り扱っております。今後は山用品分野から、登山以外のスポーツにもマッチする機能性と快適さを、『街着』として提案・提供してまいります。

その他事業のグループ会社

- 上海栗山貿易有限公司
- エアモンテ(株)
- KOC(株)
- (株)クリヤマ技術研究所

ホテル事業



ホテルコンサルト
 <http://www.consort.co.jp/>

その他事業



上海栗山貿易有限公司



エアモンテ(株)「MONTURA」展示会
 <http://www.airmonte.co.jp/>

TOPICS 1

欧州事業一周年記念パーティー



Family Day Tipsa-Kuriyama 2016

2016年6月、スペイン・グアルディオラ市のゴム製レイフラットホース製造工場において、従業員の家族、地元市町ご夫妻、北米関係者を含め、総勢415名にて、「欧州事業一周年記念パーティー（ファミリーデー）」を開催いたしました。

TIPSAグループ3社と、その家族や関係者が初めて一堂に会したこのイベントは、クリヤマファミリーとして共に成長していくことを確かめ合う、有意義な時間を共有する機会となりました。

今後もグローバル企業の一員として、グループ全体の成長に貢献できるよう、邁進してまいります。

TOPICS 2

物流倉庫の開設

産業資材事業分野での、サプライチェーン・マネジメントの最適化や、ジャストインタイムによる製品の安定供給等を目的として、物流改革に取り組んでおり、物流業務の包括的なアウトソーシングの導入を決定いたしました。

2017年1月よりOEMテクニカルセンターの倉庫機能の一部を株式会社日立物流に委託し、「クリヤマ株式会社大阪配送センター」を開設いたしました。



「大阪配送センター」

TOPICS
3

JR京都駅八条口 大型人工デッキ

平成28年3月、JR京都駅八条口に大型の人工デッキが完成しました。新しい京都の玄関口として、古都を訪れる様々な国の人々を出迎えます。床や階段の仕上げには、美観性や防滑性、耐久性を備えた磁器質セラミックタイル「グラセラ」が採用されました。「グラセラ」は、人工デッキ等屋外や屋外から室内へ接続する場所に最適な、都市景観向け「エコ&セーフティエクステリア」シリーズの主力製品です。引き続きお客様のご要望にお応えする最適なタイルを提案してまいります。



磁器質セラミックタイル「グラセラ」

TOPICS
4

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて



弾性スポーツ床材
「タラフレックス」

全天候型舗装材「スーパーX」

2016年8月に開催された、リオオリンピック・パラリンピックの競技場トラックには、当社主力商品である「スーパーX」が、バルセロナオリンピック・パラリンピック以降7大会連続で採用されました。

室内競技では、バレーボールやハンドボール、バスケットボールコート等に、「タラフレックス」や「クイックロック^(注)」が採用されました。

「スーパーX」については、滑りにくさと反発弾性の良さから、記録の出やすい走路という評価を得ており、2017年の世界陸上での採用も決定しております。

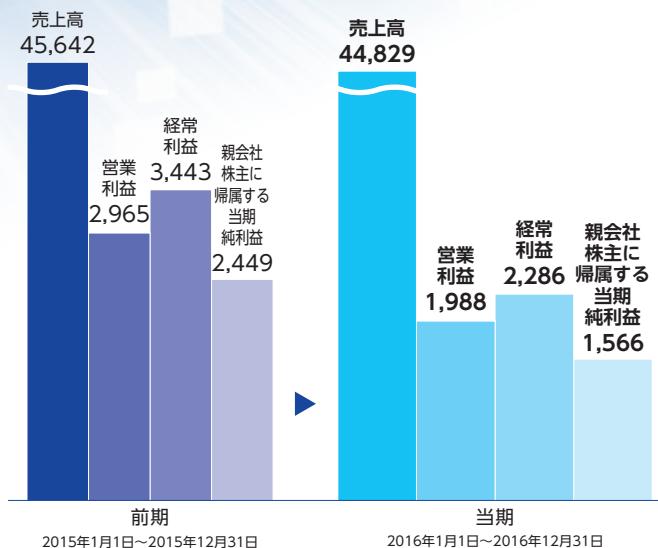
2020年の東京オリンピック・パラリンピック関連事業においても、より多くの皆様にご利用いただきご満足いただけるよう、更なる品質の向上に努めてまいります。

(注) ポータブルウッドフロアシステム：国際バスケットボール連盟公認コート

連結財務諸表

■ 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

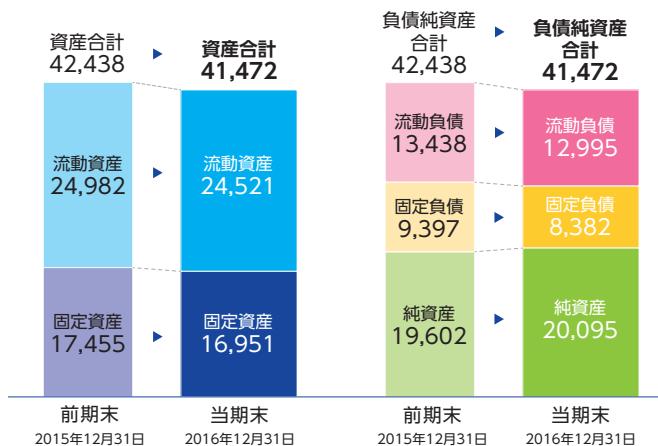


POINT

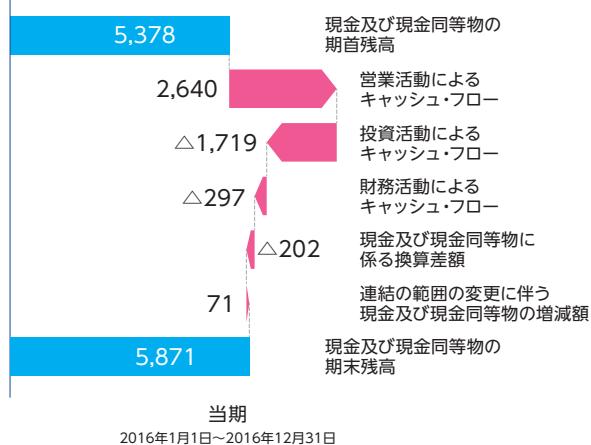
▶ 欧州事業の売上が通年で寄与する等前期なみの売上高を計上しましたが、北米事業や産業資材事業等で営業利益が減少する等利益面は低調に推移しました。

■ 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



株式情報 (2016年12月31日現在)

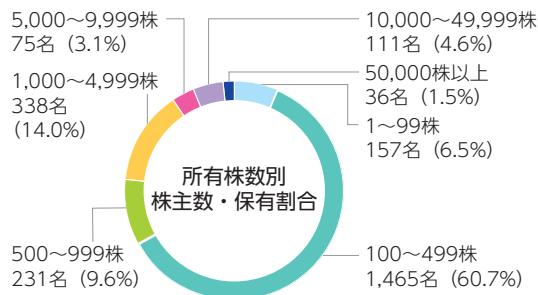
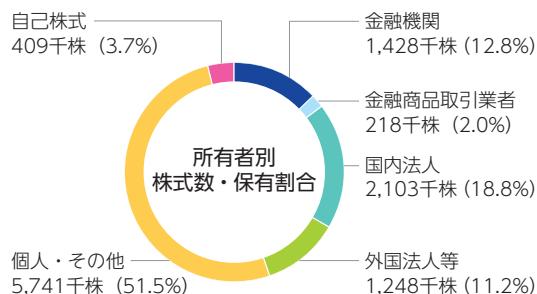
株式の状況

発行可能株式総数	36,800,000株
発行済株式の総数 (自己株式409,431株を除く)	10,740,669株
株主数	2,413名
大株主 (上位10名)	

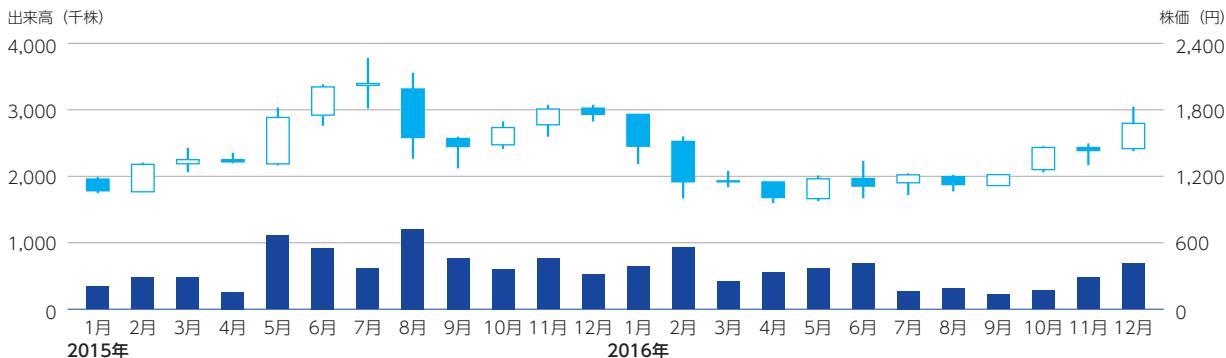
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
栗山博司	2,026	18.8
K B L E P B S . A . 1 0 7 7 0 4	586	5.4
N O K 株 式 会 社	547	5.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	395	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	245	2.2
クリヤマホールディングス従業員持株会	218	2.0
株式会社オーハシテクニカ	200	1.8
タイガースポリマー株式会社	193	1.7
御牧久美子	186	1.7
イーグル工業株式会社	180	1.6

- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 持株数については、千株未満を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率については小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。
 4. 自己株式については、上記大株主から除いております。

株式分布状況



株価および出来高の推移 (2015年1月~2016年12月、月足)



会社の概要 (2017年3月28日現在)

■ 会社概要

社名	クリヤマホールディングス株式会社
英文社名	KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION
資本金	7億8,371万6,600円
創業	1939年4月5日
設立	1940年12月21日
従業員数	9名(連結998名) ※2016年12月31日現在

■ ホームページのご案内

当社最新情報を下記ホームページに掲載しております。

 <http://www.kuriyama-holdings.com/>

■ 役員

代表取締役CEO	芦田 敏之
取締役	Lester Kraska
取締役	能勢 広宣
取締役	西田 昌弘
取締役	Thomas Hanyok
取締役	二見 毅
取締役	元木 雄三
取締役監査等委員	宮地 久人
取締役監査等委員(社外)	泉本 哲彌
取締役監査等委員(社外)	松本 邦雄
取締役監査等委員(社外)	七山 聖學

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 …… 12月31日 剰余金の配当 … 期末 12月31日 中間 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第2部
公告方法	電子公告の方法により行ないます。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。 (公告掲載URL http://www.kuriyama-holdings.com)
証券コード	3355

株主様の住所変更、配当金の受取方法の指定、単元未満株式の売却など株式に関するお手続きについて

証券口座を開設されているか、いないかでお手続き先が異なります。

▶ 証券口座を開設されている株主様

お取引されている証券会社等にお問い合わせ下さい。

▶ 証券口座を開設されていない株主様

特別口座のお問い合わせは、左記特別口座の口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社・大阪証券代行部まで、お問い合わせ下さい。なお、同行全国本支店においてもお取扱いしております。